

抱腹絶倒の喜劇オペラ!
肝っ玉母さん万歳!

オペラ・ブッファ ビバ! ラ・マンマ

Opera buffa "Viva la Mamma"

全2幕 イタリア語上演 字幕付

■作曲・台本

ガエターノ・ドニゼッティ

Gaetano Donizetti

■原作

アントニオ・シモーネ・ソグラフィー

Antonio Simone Sogرافي



指揮 飯坂 純



演出 馬場紀雄



当団101回目の定期公演となるG.ドニゼッティ作曲「ビバ!ラ・マンマ」は東京オペラ・プロデュースの過去の公演ラインナップの中で最も再演回数が多いヒット作です。作曲家が30歳の時(1827年)イタリア・ナポリのテアトロ・ヌーヴォから1幕の喜劇(ファルサ)の依頼を受け完成した「劇場における好都合」というオペラが発端となっており、大成功を遂げ気を良くしたドニゼッティが同じ原本の続編「劇場における不都合」を新たに融合させ創作し直した作品です。何度も改訂を重ね、更に国境を越え、作品の上演毎に多くのエッセンスやアドリブ等でその当時の観客を沸かせました。あまりにも多く上演され、新たなオペラ創作作品が生まれたので、上演の機会は少なくなりました。20世紀に入り1969年にドイツ・ミュンヘンで再構築され、題名も「ビバ!ラ・マンマ」と改名、再び脚光を浴びる事となります。当団では1982年に日本語訳詞上演の形で初演、5回の再演、1997年には原語(イタリア語)での上演を成し遂げました。オペラ界の重鎮歌手が数多く出演、オペラでは珍しい日頃の喧騒を忘れ去れる喜劇として名高い第一級品です。20年ぶりの再演となりますが、東京オペラ・プロデュースの歴史と未来を舞台に反映させるべく、再演いたします。是非、この機会をお見逃しなきよう、ご観劇いただければ幸いです。

あらすじ

イタリアの小劇場。本番を間近に控え、新作オペラ(オペラセリア)の稽古中。しかし、歌手、スタッフの間で楽譜等々の不備を擦り付け合い…。また、2名のゲスト歌手が不甲斐なく興行主は狼狽える。突如、舞台上へ脇役歌手ルイジアの母・アガタが近所の酒場で一杯ひっかけ登場、娘がチョイ役では不満足、プリマとの二重唱を懇願するが受け入れられず…。そこに届いた一通の手紙が、興行主のずさんな経営ぶりを告発され大騒ぎ。アガタがコネで助けようとするが、娘売り込み故の下心と皆で拒否。そこへ役人が登場、ゲスト歌手の潜入捜査により不正会計が明らかになり、助成を打ち切り、劇場を差し押さえると宣告…とはいえ役人も関係者も根っからのオペラ好き! オペラ上演を絶やさぬよう、一同、絶望と混乱の中、さて、どうなることやら…。

11/11(±)

Cast



マンマ・アガタ
羽山 晃生

コリッパ
翠 千賀

ルイジア
羽山 弘子

ブローココ
米谷 毅彦

グリエルモ
上原 正敏



ビスクローマ
白井 和之

プロスペロ
岡戸 淳

インプレザーリオ
佐藤 泰弘

ドロテア
小野さおり

イスベッーレ
鹿野 章人

11/12(日)

Cast



マンマ・アガタ
押川 浩士

コリッパ
柴田 智子

ルイジア
前坂 美希

ブローココ
杉野 正隆

グリエルモ
松村 英行



ビスクローマ
清水 宏樹

プロスペロ
和田ひでき

インプレザーリオ
笠井 仁

ドロテア
二宮 望実

イスベッーレ
堺 裕貴



《上演会場》
新国立劇場 中劇場

〒151-0071
東京都渋谷区本町1-1-1
TEL: 03-5351-3011
新宿駅より京王新線
初台駅下車徒歩1分

次回公演



東京オペラ・プロデュース

第102回定期公演

2018年 9月22日[土]・23日[日] 両日15時開演
新国立劇場 中劇場